

埼玉県議会議員

あらい一徳



安心、安全で豊かな暮らしの実現を目指して

県政ニュース

平成30年が明けました。昨年の我が国経済は緩やかに回復基調が継続しましたが、国際情勢に目を転じますと、米朝間の緊張の高まりや中東情勢の変化など不安定要因が山積しています。先行き不透明な今こそ、私の政治理念であります「安心、安全で豊かな暮らしの実現」こそが、県民の真の願いであると考えています。そのため本年も日々、県政や市政の進展のため、諸課題の解決に全力を傾注する覚悟です。

あらい一徳県政報告ニュース1月号では、私が務めております警察危機管理防災委員長としての職務や、現在、本県が抱える課題などについてご報告させていただきます。

振り込め詐欺、高齢者の交通事故の撲滅に向けて

警察危機管理防災委員会で、喫緊の課題として、撲滅に向けて取り組んでいるのが

①振り込め詐欺②高齢者の交通事故です。

振り込め詐欺の実態は？

県警察本部が認知した「振り込め詐欺」の件数は、昨年1月～11月の11カ月間で1100件にもものぼり、前年同期比で232件の大幅な増加となりました。一方で、被害金額は16億2651万円で、前年同期比で2億1259万円の減となりました。同本部は、「お金を騙し取りやすくするために、請求金額を減らす傾向にある」と分析しています。振り込め詐欺の中で最も多い手口が「オレオレ詐欺」で、全体の7割弱を占めます。警察官や金融機関職員などを装って、通帳やキャッシュカードを騙し取る手口が多発する一方、依然として息子や孫を装う手口も発生しています。被害者は65歳以上の高齢者が8割強を占めます。

北本市では16件、2267万円の被害

北本市内での認知件数は16件で被害総額は2267万円。市町村ごと（さいたま市は区ごと）では、認知件数は23番目の多さです。被害者の性別は男性3人に対して、女性が13人となっており、年代別では50代が2人、60代が3人、70代が8人、80代が3人です。全県的な傾向と同じで、高齢者が被害に遭うケースが目立ちます。

具体的な被害例ですが、息子を名乗って、「小切手の入ったカバンをなくした。今日中に何とかしないと大変なことになる。100万円なんとかならないか？」などと電話をかけ、息子の部下を名乗って訪ねてきた者に、自宅で現金を渡してしまったケースなどが実際に起こっています。

振り込め詐欺は年々、悪質かつ巧妙化しているのが実態です。その被害を防ぐにはご家族の協力が不可欠です。家族を振り込め詐欺の被害から守るために、次の取り組みをお願いいたします。（裏面へ続く）

①家族や身近な人と気軽に相談できる環境づくり

普段からご家族と積極的にコミュニケーションを図り、お互いに気軽に相談できる環境づくりを進めるとともに、いざという時の相談相手についてご家族内で決めておくことも重要です。

②見知らぬ番号の電話には出ないための対策

在宅時でも、常に留守番電話の設定をしておき、電話番号表示付きの電話機により、電話番号から相手が誰だか分かる時のみに電話に出るようにすれば、被害を防ぐことが可能です。こうした取り組みを積極的に進めることで、振り込め詐欺を撲滅させましょう。

増加する高齢者の交通事故死



県警察本部によると、本県における昨年1年間の交通事故死亡数は177人。前年同期比で26人の大幅増で、全国では愛知県について本県はワースト2位でした。177人の内訳ですが、65歳以上の高齢者が95人となり、5割強を占めました。このうち、歩行中や自転車乗車中の事故で亡くなったのが74人で、夜間（18時～22時）に、自宅近く（自宅から500m以内）で事故に遭うケースが目立つそうです。

なお、昨年1年間に北本市内で発生した交通事故で亡くなったのは1人。12月中旬、石戸地内の交差点で、自転車に乗っていた60代の女性が右折中の普通乗用車にはねられて死亡しました。

県警察本部では、歩行者に対しては、きちんと横断歩道を渡ることや信号の点滅時には横断を控えること、横断歩道のない車道での斜め横断をやめることなどを指導しています。また、自転車に乗る方には、交差点では必ず一時停止することや急な進路変更はしないこと、夜間のライト点灯の徹底などを呼び掛けています。

「交通ルールを守ることが、自らの身を守ることにつながる」

こうした意識を市民一人ひとりがしっかりと持つことで、交通死亡事故を防止することができると考えています。

4月より、自転車保険加入義務化へ

本県では自転車条例の改正により、本年4月より、県内で自転車を利用するすべての方を対象に自転車損害保険への加入が義務化されます。自転車事故を起こした際の被害者救済や、加害者の経済的負担の軽減が目的です。未加入の方は自分に合った保険を選択して加入することをお勧めします。

新井一徳プロフィール

○昭和48年1月19日、北本市生まれ。
○北本市立石戸小学校、西中学校、埼玉県立熊谷高等学校を経て、慶應義塾大学卒。社会人時代はテレビ埼玉、北海道新聞でジャーナリストを務める。
○平成23年春の埼玉県議会議員選挙で初当選し、現在は2期目。産業労働企業委員長、人材育成・文化・スポーツ振興特別副委員長などを歴任し、現在は警察危機管理防災委員長として、防災活動や防犯活動に力を注ぐ。

あらい一徳県政調査事務所

☎ 364-0031 北本市中央 1-81

Tel 048-594-1600 Fax 048-594-1602

月～金の AM9:30～PM5:30に開設中。

ご意見ご要望をお寄せください。